

平成27年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1005

施設名	伊丹市立伊丹郷町館		
施設の設置目的	市民の共有する文化財を公開するとともに、歴史、文化に関する事業を推進することにより、市民の教養の向上並びに文化の発展を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の来館者数	
	今年度の目標値	50,000	通期の実績値 82,855

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27(上期)	H27(通期)
	来館者数(人)		32,043	69,116	53,366	55,791	73,130	56,097
貸し室稼働率(%)		17	21	16	17	11	18	14
延べ事業開催回数(回)		0	21	14	13	18	9	16
延べ事業参加者数(人)		0	24,141	8,529	13,779	22,201	18,255	21,550

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	21,050	指定管理委託料	21,162
	事業収入（講座料収入等）	0	事業収入（講座料収入等）	35
	利用料金	516	利用料金	545
	合計	21,566	合計	21,742
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	12,121	人件費	11,787
	維持管理経費	9,445	維持管理経費	9,589
	合計	21,566	合計	21,376
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	366	

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	0	0	0	0	0	-
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	-
	市の支出	31,019	24,851	24,946	26,079	21,162	-
	（内、指定管理委託料）	25,783	20,328	19,806	20,550	21,162	-
実質経費（歳出－歳入）	31,019	24,851	24,946	26,079	21,162	-	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果						
		指定管理者自己評価		施設担当課評価				
		評価	特記事項	評価	担当課所見			
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業務の業務水準が下がらないよう、仕様書による点検や現場のチェック等を随時実施している。また、伊丹市環境マネジメントにもとづき、節電節水等徹底した環境への配慮に取り組んでいる。	A	館内は常に清潔に保たれており、アンケート結果も高評価である。施設の老朽化が進行していく中で、市と適宜協議しながら協定書・仕様書に基づき、適切に行われている。		
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B		救命救急講習受講によるAEDの操作法等の習得をはじめ、接遇等の自主研修の開催や各種研修への積極的な参加を行っている。		B	接遇や能力研修などの他、救命救急講習(AED)などにも参加し、能力向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B				B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B				B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B		連絡体制を整備、消防署員交流会を含む年2回の防災訓練を実施している。		B	みやのまえ文化の郷で施設間の連携を図っている。また防災訓練も適宜実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B				B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケートを随時実施、意見・要望に対し迅速に対応している。職員はもちろん、委託業者に至るまで施設の一員として接客マナー・サービスの向上に努めるよう指導している。また、インバウンド需要に対応できる施設を目指し取り組んでいる。	A	アンケート結果をもとに、みやのまえ文化の郷内で定期的に情報交換を行っており、迅速な対応や指定管理者の特性を活かしサービス向上に取り組んでいる。		
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B		施設の特色を活かした展示・講座等の事業を開催、好評を得ている。		B	郷町館の風情を活かした様々な事業展開がなされており、来館者の獲得に努めている。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A				B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B		電子データ等すべての情報管理を厳格に行なっている。ホームページだけでなく、ブログなどを通してを広報に積極的に取り組んでいる。		B	ホームページや広報紙だけでなく、各種メディアや団体等に対し情報提供を行っているが、今後さらなる事業PRの拡充を図っていただきたい。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B				B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A				B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B		適切に執行している。		B	収支計画に基づき、適切に行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B					

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	「鳴く虫と郷町」をはじめ郷町館の風情にマッチした季節感のあるユニークな事業を開催し、「みやのまえ文化の郷」の施設の一つとして文化財の特徴を活かしながら、多くの方に来館いただけるよう事業を展開している。また、国・県指定文化財の建築物であることを十分に理解し、的確な管理運営を行っていただきたい。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」=管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」=管理運営が優れていると認められる。

「B」=管理運営が適正であると認められる。

「C」=管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成 27年4月1日 ~ 平成28年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	■お雛飾り素敵です。とても良い時にきました。ありがとうございます。 ■偶然通りがかりでしたが、貴重な史料を確認できてよかったです。	■街なかにある重要文化財の建築物として気軽に足を運んで頂き、良い時間を過ごして頂けるよう努力致します。
回答者数	■やや照明が暗い	■江戸時代の建物の雰囲気を活かす明るさにしていますが、展示物には照明を当てる工夫をしています。
1259	■階段の上りに上りたかった。	■安全を考慮し、立入禁止としています。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし。	